様式第１号（第５条、第８条関係）

　　◯◯年度鳥取県宿泊施設魅力アップ事業補助金事業計画書

１　申請者

|  |  |
| --- | --- |
| 申請者団体名及び代表者名 |  |
| 担当者名 |  |
| 連絡先（電話番号） |  |

２　事業の概要

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| １　事業目的２　事業計画の内容３　実施場所４　実施期間５　宿泊者誘致計画

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 誘客目標宿泊者数 | 人／年 | 現在の宿泊者数 | 人／年 |
| 誘致計画の内容 |  |

　　※記載する誘致計画は、当該補助金申請にかかるものだけでなく、申請者が独自に行う事業についても記載してください。６　その他参考となる事項７　他の補助金の活用の有無（有・無）　※他の補助金の活用の有無について、「有」、「無」のいずれかに○をしてください。　※「有」の場合は、活用する補助金名やその事業内容、当該補助金に係る問い合わせ先（補助金を所管している部署名や団体名及び連絡先）を記載してください。８　消費税の取り扱いいずれか一つを選択して〇をしてください。　　（　）①地方公共団体　　（　）②免税事業者　　（　）③簡易課税事業者（確定申告月：　　月申告）　　（　）④特定収入割合が５％超の公益法人等　　（　）⑤上記４のいずれでもない【補助対象経費における消費税の取り扱い】　　①、②、③、④の場合：消費税額を補助対象経費に含めて補助金算定基準額を算定する。⑤の場合：消費税額を補助対象経費に含めないで補助金算定基準額を算定する。【添付（追加提出）資料】　　②の場合補助事業実施年度の前々年度に係る法人税（個人事業主の場合は所得税）確定申告書の写し（税務署の収受印等のあるもの）及び決算書等、免税事業者であることを確認できる資料。　　③の場合　　　補助事業実施年度における消費税確定申告書（簡易課税用）の写し（税務署の収受印等のあるもの）　　　※確定申告が当該補助金の交付申請日以降の場合は、確定申告後、速やかに提出すること。　　④の場合　　　特定収入の割合を確認できる資料。９　その他　※補助事業の内容が建設工事で補助対象となる建物に対し、過去に補助金を活用して整備した実績がある場合は、当時の整備内容を記載してください。　※また、今後、当該建物（設備、備品を含む）に他の補助金を活用する別の整備計画の予定がある場合はその内容を記載してください。 |

様式第２号（第５条、第８条関係）

　　◯◯年度鳥取県宿泊施設魅力アップ事業補助金収支予算書

　１ 収　　入 　　　　　　　　　（単位：円）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 区　　　分 | 本年度予算額(本年度決算額) | 前年度予算額(本年度予算額) | 差引増減額 | 内　　　　訳 |  |
|  |  |  |  |  |
| 合　　計 |  |  |  |  |

　２ 支　　出　 　　　　　　 （単位：円）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 区　　分 | 本年度予算額(本年度決算額) | 前年度予算額(本年度予算額) | 差引増減額 | 内　　　　訳 |  |
|  |  |  |  |  |
| 合　　計 |  |  |  |  |  |